

# いちのみや おサイフ事情

令和4年度の歳出決算額をひとりあたりにすると36万7千円です。  
分野ごとに対象者ひとりあたりの金額をみてみると…

## 防災・安全

1.6万円 ±0万円 (+2.6%)

防災・安全に係る経費	60億2,289万円
人口	37万9,538人

浸水被害を軽減するため川崎川、千間堀川などの河川改修を進めました。また、古くなった消防車や救急車を買い換えました。



## 障害者福祉

68.5万円 +3万円 (+4.6%)

障害者福祉に係る経費	140億9,699万円
障害者手帳所持者数	2万581人

障害児の放課後等デイサービスや障害者のグループホームサービスなどの需要が増しました。



## 市の決算額ひとりあたり

36.7万円

令和3年度と比べて  
-0.4万円  
(-1.2%)

令和4年度 一般会計歳出決算額	1,391億587万円
人口	37万9,538人

## こども・子育て

65.9万円 -13万円 (-16.5%)

こども・子育てに係る経費	312億2,628万円
14歳以下人口	4万7,413人

児童館を増築して放課後児童クラブの定員を増やしました。また、中学校3校に不登校の生徒らを支援するサポートルームを設置しました。

前年度にGIGAスクール構想の整備(1人1台学習用端末の導入)をしたことから全体としては減少しました。



## 高齢者福祉

7.5万円 +1.1万円 (+17.0%)

高齢者福祉に係る経費	77億1,829万円
65歳以上人口	10万3,420人

高齢者の外出を支援するため、タクシー利用券の配付対象を90歳以上から85歳以上に引き下げました。また、特別養護老人ホームの建設補助などにより市内の介護施設を充実させました。



## コロナ対策・物価高騰対策事業も幅広く実施しました。

コロナ対策・物価高騰対策 3.4万円 -1.2万円 (-27.0%)

コロナ対策・物価高騰対策関連経費	130億7,819万円
人口	37万9,538人

ワクチン接種を推進するとともに、水道の基本料金や保育園等・小中学校の給食費を4か月分無償にするなど市独自の事業も展開しました。

前年度に子育て世帯へ臨時特別給付をしたことから全体としては減少しました。



※該当経費に伴う歳入は加味していません。対象者数は、令和4年度実績または令和4年度末時点で把握している数値です。

市では、予算の「見える化」を進めています。事業の有効性を測るための指標であるKPIを導入し、事業の対象者あたりの経費はいくらか、そのコストを公開しています。

詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。ID 1047141

※ ID は市ウェブサイトのページID番号です。  
市ウェブサイト内の検索ボックスに入力してください。